

＝平成30年度早川南小学校だより＝

はるき



平成30年9月14日

No.23

校長 坂野修一

敬老の日特集



校庭に、とんぼが群れて飛ぶ姿が見られるようになってきました。一気に秋がやってきた感じがします。こんなに涼しくなり、このまま秋本番を迎えると思ったら、3連休後半は再び残暑となるそうです。連休中のお子様の健康管理には、くれぐれもご配慮いただけますようお願いいたします。

さて、その3連休最終日17日(月)は「敬老の日」、国民の祝日です。その意味は、「国民の祝日に関する法律」によると、「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し長寿を祝う」とされています。つまり、人生〇〇年、長いことこの社会で頑張ってきたお年寄りを敬い、そしてこれからのさらなる活躍と長生きを願う日ですね。

「敬老の日」は、もともとは9月15日固定の祝日でした。しかし、2003年の「ハッピーマンデー制度」施行に伴い、9月第3月曜日になりました。なぜ最初は9月15日だったかということ、戦後の1947年(昭和22年)、兵庫県多可郡野間谷村(現在の多可町)の村長が「お年寄りを大切に、そのお年寄りの知恵を借りて村づくりをしよう!」と、農閑期になった9月15日に敬老会を開いたことがきっかけだそうです。そして、この小さな村の運動が兵庫県全体に広がり、さらに全国に波及し、1965年に国民の休日として「敬老の日」が制定されました。

そのお年寄りの割合がどんどん増えてきています。下記の表をご覧ください。内閣府の最も新しいデータによれば…

	総人口	65歳以上人口	15～64歳人口	0～14歳人口
2018年	1億2,671万	3,515万(28%)	7,596万(60%)	1,559万(12%)
2035年	1億1,522万	3,782万(33%)	6,494万(56%)	1,246万(11%)
2065年	8,808万	3,381万(38%)	4,529万(51%)	898万(10%)

17年後(私が71歳か…まだ生きてるかな?)には、65歳以上が総人口の3分の1を占め、今の早川南小学校の子どもたちが50代後半に差し掛かる47年後(私はまずいないでしょう)には、人口が9千万を切り、65歳以上が4割に迫る試算が出ています。そんな数を見るにつけ、我が国の高齢化に驚くとともに、「社会保障制度がどのように構築されていくのか?」「少子高齢化対策は?」など、政治課題について無関心であってはいけないなあと思うのです。

我が校の子どもたちは、「敬老の日」に何かするのでしょうか?おじいちゃんおばあちゃんと一緒に同居、または近くに住んでいるご家庭はもちろんのこと、遠くに住んでいるおじいちゃんやおばあちゃんにも、是非想いを馳せてほしいなあと思います。学校で例年取り組んでいる「敬老の日お手紙」は、本日までに持ち帰っています。手紙を渡ししながら、何かできるといいですね。連休明けに、子どもたちに聞いてみたいと思います。